



※清永啓太さん（地域おこし協力隊）のイラストを掲載します。季節で変わる予定ですので、楽しみに！

大口城跡で桜の植樹



3/12

大口城跡の整備をボランティアで行っている「大口城を愛する会」の会員のみなさんが、桜の植樹作業を行いました。

2016年から活動を始め、これまでに約600本の桜を植樹しています。

例年であれば「植樹祭」と銘打ち、桜のオーナーも参加しての植樹作業を行ってきましたが、今年は新型コロナ感染対策で、会員のみで作業を行いました。

この日は、約150本の桜の苗木を植樹しました。

NHK 投稿映像大賞 「奨励賞」受賞！

3/24



伊佐市観光ガイド「伊佐の風」の会員などとして活躍されている南清喜さんが、「第7回 NHK 投稿映像大賞 スクープ映像部門 奨励賞」（全国3位）を受賞し、賞状と記念のトロフィーが授与されました。

受賞した投稿映像は、昨年7月の豪雨時の曾木の滝の映像で、「NHK スクープBOX」のホームページで観ることができます。

伊佐市に寄附金贈呈

4/18



伊佐市に対して第一生命保険株式会社から寄附が行われ、伊佐市役所にて寄附目録贈呈式が行われました。式には第一生命保険会社から2名と市長、副市長らが参加し、市長は「この寄附を1円たりとも無駄にせず、市の抱える問題の解決に役立てていく」と話しました。

第一生命保険の西ゆかりさんは「伊佐の地域課題解決に向けて自分もできることをしたい」と今回の寄附への思いを語りました。



空手で全国大会出場

4/13



大口中央中学校2年の満田翼さん（左側）と菱刈中学校2年の小原海晟さん（右側）が空手の全国大会に出場し、市長・教育長らが激励しました。大会の感想として、満田さんは「負けてしまって、涙が出るほど悔しかった」、小原さんは「あまり緊張せず、楽しむことができた」と話し、それぞれまた次の全国大会に向けて練習を頑張っていきたいと意気込んでいました。

植樹で山との触れ合い

4/16



伊佐愛林有限会社の協力によって植樹祭が開催され、こようこども園の園児たちが山で植樹を体験しました。園児たちは、スコップを手に真剣に作業に取り組み、植樹を通じて山と触れ合いました。植樹を体験した石井良昂くんは「穴を掘って木を植えるのが楽しかった。大きく育ててほしい」と感想を話しました。

また、植樹の後には、林業でも活躍している大型ドローンによるデモンストレーションも行われ、大きなドローンが飛び立つ姿に園児たちは大興奮でした。

伊佐の魅力を発信

4/7



伊佐市役所にてPR レディ・ボーイ委嘱状交付式が行われ、伊佐市PR レディ・ボーイの4人が市長から委嘱状を受け取りました。PR ボーイ2年目の周防原朋也さんは「活動が制限されるコロナ禍においても、SNSなどを活用して伊佐の魅力を発信していきたい」と語りました。任期は令和5年3月31日まで。

〈写真左から〉

脇迫 里帆さん・大友 翔太さん
周防原 朋也さん・多賀 夕真さん

鮎の稚魚放流体験

4/16



川内川上流漁業協同組合の放流事業の一環として、馬渡川・川内川に合計70kgの稚鮎が放流されました。

そのうち馬渡川では、羽月西小学校の児童14人が参加し、コミュニティ協議会の方々が見守るなか「大きくなってね」と声を掛けながら放流しました。

川内川上流漁業協同組合では、6月1日の漁解禁に向けて270kg・約54,000匹を管内に放流したということです。

4/6

大きな門の下で入学式



山野小学校で入学式が行われました。地域コミュニティで作製した、祝創立150周年と書かれた立派な入場門が新入生を迎え入れ、子どもたちは新たな生活に期待を膨らませているようでした。よく晴れた空と門の下で、元気いっぱい駆け回る子どもたちの姿が印象的でした。

4/4

交通事故に気をつけて！



伊佐湧水警察署にて、伊佐市内の小学校へと入学する新入生への交通安全記念品贈呈式が行われました。

式には5人の新入学児童が参加し、児童へ伊佐市長や伊佐湧水警察署長らがランドセルカバーや通学帽子などの交通安全グッズを贈呈しました。

児童の保護者が見守るなか、子どもたちは少し緊張しながらも、記念品を受け取り、最後には揃って記念撮影を行いました。

伊佐の教育を日本一に



4/4

伊佐市役所で転任教職員着任式が行われました。式は、新型コロナウイルス感染防止のためweb開催で行われ、市長をはじめとして教育長や市内の小中学校の校長などの教育関係者が集まりました。市長は、画面を介して転任教職員に「日本一の教育をめざして頑張してほしい」とメッセージを伝えました。

「いかのおすし」で防犯意識



4/15

菱刈小学校で子供安全見守り活動が行われ、1年生12人が防犯標語「いかのおすし」について学びました。伊佐湧水警察署の警察官が「いかのおすし」の5つの行動指針を子どもたちに声に出して復唱させ、防犯意識の定着を図りました。また、何かあったらすぐ近くの子ども110番の家やお店に駆け込むよう呼び掛け、大人に助けを求めることの大切さを伝えました。